

研究・調査報告書

報告書番号	担当
119	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
High intake of alcohol is associated with newly diagnosed diabetes in 60 years old men and women 多量飲酒は 60 歳男性および女性の新たな糖尿病の診断と関連がある	
執筆者	
Wandell PE, de Faire U, Hellenius ML.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Nutr Metab Cardiovasc Dis. 2007 Oct;17(8):598-608.	
キーワード	
糖尿病、飲酒、スウェーデン	
要 旨	
<p>背景・目的：</p> <p>低または中等量の飲酒は糖尿病の発症に対し防御的であることが言われている一方、多量飲酒に関しては結果が対立している。ここでは、60 歳の対象者において新たに診断された糖尿病に対する飲酒による効果を、身体測定値、生活様式および社会経済的な因子を調整し評価することである。</p> <p>方法・結果：</p> <p>スウェーデンのストックホルム地区に住む 60 歳の 4106 名 (男性 1973 名、女性 2133 名) を対象とした疫学的横断研究 (244 人の症例と 1270 人の対照) である。既往歴、社会経済的な因子および生活様式の情報が質問票および検体検査より集められた。多量飲酒は、例えば一日当たり 30g より多いアルコール摂取は 30g 以下に比べ、男性において新たに糖尿病と診断される場合が有意に多いことが示された (OR 2.72, 95% CI 1.70-4.34)。それは他の因子、例えば身体測定値、生活様式、社会経済的な因子および食事因子を調整しても有意であった (調整後 OR 1.94, 95% CI 1.17-3.23)。また多量飲酒を一日当たり 15g よりも多いと定義すると女性においても有意に多いことが示された (OR 3.97, 95% CI 1.50-10.50)。しかし調整後は有意でなくなった (OR 2.23, 95% CI 0.67-7.42)。</p> <p>結論：</p> <p>男性において多量飲酒は他の因子を調整しても糖尿病のリスクの増加と関連があった。</p>	